スマート水道を推進

第1回総会開き新協会始動

IoT化へ幅広く情報提供

一般社団法人スマート水道推進協会（代表理事・坂本弘道元厚生省水道環境部長）は九月四日、東京・神保町の学士会館で第一回総会を開催した。人口減少による人手不足や施設の老朽化などの課題解決に向けて水道事業のIoT化・スマート化をめざす。初年度はシンポジウムなどを通じた周知・普及活動やシステム・機器の運用に関するガイドラインの作成、水道事業体との共同実験、幅広い関係者への情報提供などに積極的に取り組んでいく方針だ。

坂本代表理事

石井専務理事

水道事業は人口減少による人手不足や施設の老朽化など多様な問題を抱えており、今後も変わらぬ安定供給・サービス継続のために早急な水道事業の見直しと最適化が求められている。IoT（モノのインターネット）化が多くの事業で進められていく中で水道事業でもIoT化が始まろうとしている。

同協会はこうした時代の変化が水道事業の課題解決の糸口になるとして発足。国内のみならず海外も含めた水道関係企業などを会員として水道事業のIoT化・スマート化に向けた情報提供や意見交換、実証実験などを繰り広げる。

学士会館で事業計画など確認

初の総会には約三十名が出席。冒頭、坂本代表理事があいさつに立ち「明治時代にはコレラが流行し、年間十万人もの犠牲者を出していた。これを重く見た岩倉具視は国内初の水道を作った。昭和三十二年に水道が三分割され、上水道、下水道、工業用水道に分かれて水道法が成立した。現在、民間企業では当たり前のようにスマート化が進められているが、水道界では遅々として進んでいない。騒然としている世の中に対応して水道界をどのように導いていくかが肝要だ。世の中のためになる仕事として法改正などの気運を盛り上げていきたい」と力強く述べ、絶大な協力を要請した。

続いて平成二十九年度事業計画などを確認。理事として新たに真柄基泰公益財団法人給水工事技術振興財団理事長らが就任する予定だ。

初年度の事業計画の柱は①水道スマートシステム・機器などの研究開発②普及にあたっての試験設置の企画③運用に関するガイドライン作成④関係官庁などへの承認活動⑤設置に関する規範づくり――などとなっている。企画運営委員会や技術委員会を設置して着実に取り組んでいく。

具体的にはスマート化の効果の周知、シンポジウムなどの普及活動、水道事業体などからの問い合わせへの対応、ガイドライン・標準仕様・規格化などの水道事業体・公的機関への提案、スマート化を希望する水道事業体との共同実験・情報支援、下水道・工業用水道など水道事業以外の関係者への情報提供などを行う。またスマート化のコスト削減に向けた企業努力・水道事業広域化への支援・施設導入の方法などを提案し、実用化を促進する協力体制を構築。水道事業体を主体に従来からスマートメーター協議会を設立して普及活動に努めている水道技術研究センターとの協力・連携も推進する。

報告終了後、設立発起人で専務理事に就任した石井健睿元東京都水道局技監が記念講演を行い、設立の経緯・目的・活動などを解説した。

初のマネジメント型ファンド

国交省 民都機構 まちづくり支援事業で設立

原田理事長

国土交通省とまちづくり事業でパートナー協定を結んでいる一般財団法人民間都市開発推進機構（原田保夫理事長）は九月七日、東京・霞が関の中央合同庁舎二号館会議室で大阪シティ信用金庫、沼津信用金庫と全国初のマネジメント型まちづくりファンド設立に関する契約書に調印した。地域金融機関と連携し、地域の課題解決に向けたリノベーションなどの民間まちづくり事業を推進していく。

国交省と民都機構は民間まちづくり事業への出資などを行うマネジメント型まちづくりファンド支援事業を四月に創設。地域金融機関と連携して一定のエリアをマネジメントしつつ民間まちづくり事業を連鎖的に展開していく。今回の契約締結は昨年七月に国交省、民都機構、信金中央金庫の間で交わされた「まちづくり事業の推進に関するパートナー協定」に基づく活動の具体的な成果となる。

地域金融機関と契約書に調印

調印式には原田理事長をほじめ河村正雄大阪シティ信用金庫理事長、紅野正裕沼津信用金庫理事長、栗田卓也国交省都市局長、田邉光雄信金中央金庫理事長らが出席。あいさつに立った原田理事長は「この日を迎えることができ、たいへん嬉しく思う。本ファンドは民間金融を補完する究極の形だ。今後の成果が問われるだろうが、地域課題の解決に大いに役立つものとなるよう積極的にフォローする」と述べた。また栗田都市局長は「持続可能な社会の形成に向けて本事業を精力的に展開していく」と強い意欲を示した。

日本設備工業新聞

発行所
（株）日本設備工業新聞社
東京都渋谷区桜丘町10-13
〒150-0031　野元第1ビル
電話（03）3496−4774㈹
FAX（03）3464−1884
info@setubikougyo.co.jp
（購読料郵税共）年極8,000円

TOTO

きれい除菌水のチカラで、
毎回手間なし除菌。
2017年8月 発売 | NEW
NEOREST
詳細は弊社カタログ、HPをご覧ください。

高効率を追求するテラル
テラルの新コンセプト「Triple e」による
キャビネット型加圧給水ポンプユニット
TERAL
3e Triple e シリーズ

発売予告
推定末端圧力一定
給水ポンプユニット
CXV型
省スペース
25%※ 設置面積 業界最小!
ダウン（当社比）（2017年4月 現在 当社調べ）
静音
省電力
優れた施工性
●屋外設置可能　●低振動
●充実の標準装備　●安心・安全機能
テラル株式会社
www.teral.net
本　社／〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇230
TEL.084-955-1111 FAX.084-955-5777
東京支社／〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27テラル後楽ビル6階
東京・大阪など
全国9支店、
47営業所